

# 広報 あのかわ

わたくしたちの町

人口(男).....	4694	人
(女).....	5052	人
合計.....	9746	人
2月中の転入	22	人
転出	18	人
世帯数.....	2207	

(2月30日住民登録人口調)

## 三月定例町議会 新年度予算十三億九千六百万円 審議案件二十六件 原案どおり可決

三月十二日招集された三月定例町議会は、三月二十二日まで十一日間の会期で審議され、去る二十二日午後の本会議で条例関係十件、予算関係十件、単行案件七件の全議案を原案どおり可決、また付託された陳情八件については七件を採択、一件を不採択、意見書提出一件については原案を可決し閉会した。

今議会は、新年度の予算案の提出とあわせて、一年間の町政のあり方、進め方が説明される定例会とあつた。



町政説明をする畠山町長

て、終始真げんな討議がなされました。

また、一般質問は五十年代における町行政の基本と推進、大野台開発の方向、町民生活の安定と不況対策出稼問題と福祉施策、町民の健康管理、交通対策など、当面する重要問題について、七議員より一般質問が出されました。

非常勤特別職、常勤特別職、一般職の旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定

増沢部落と相方五割の分収によって六十年間契約するもので、面積は二十、四八ヘクタールとなつていま

### 昭和四十九年度一般会計補正予算

これまでの予算の総額から、歳入歳出それぞれ八十七万六千円を減額し、歳入歳出予算の総額を十四億二千四百二十二万円としたもので

減額の主なものは、公共事業抑制による農道、林道の整備事業並に橋梁事業等の次年度繰延べなどとなつております。

### 昭和五十年年度一般会計予算

総額十三億九千六百四十五万三千円でありその内容については町長施政方針のとおりです。

## 消防 無火災で受賞 満二年達成も目前

県は三月十一日、秋田市の県正庁で昭和四十九年度の無火災町村及び消防功労者の表彰式が行なわれまし

合川町は四十六年五月二十九日から無火災が続き、三月三十一日で六百七十二日という快記録を継続、あ

## 公職選挙法が改正 郵便投票の制度できる

### 重度身障者に選挙の道

このたび、公職選挙法が改正され、三月一日以降に告示される選挙から身体に重度の障害があり投票所に行けない人のために郵便による投票(在宅投票)ができる道がひらかれました。

一、不在者投票のやり方  
イ、選挙人名簿に登録されている市町村の選挙管理委員会に自分の署名した文書に手帳を添えて「郵便投票証明書」の交付を申請する。  
ロ、証明書の交付を受けたい選挙人は、おそくとも選挙の期日四日前までに、自分の登録されている選挙管理委員会に不在者投票用紙の交付を請求する。  
この場合はかならず「郵便投票証明書」を提示する。  
四十九年度は町内で約三千人余りが加入しそれぞれこの制度で保護されましたが、三月末で期限切れとなりましたので掛け替への手続をとって下さい。  
なお、新規に加入される方も受付けますから詳しいことは総務課におたずね下さい。  
掛金は一律三〇〇円でありますが、生活保護世帯、七十歳以上の老人、保育園児、小、中学生、交通安全推進員、交通指導隊員については町が保険料を負担することになっております。

### 交通共済制度

### 家族そろって加入 ただ今受付中

交通事故は年々増加して

町とまでいわれた合川町も、町民をはじめとして消防関係者の努力により、見事に「変身」、今回の表彰となりました。



表彰状を手に、喜びの畠山町長と斎藤団長

三月九日、雄勝郡羽後町の第二回生涯教育推進大会の講師を頼まれて、前夜羽後町西馬音内の旅館に泊り、当日羽後町中央公民館に向いたら、廊下から大野台愛生園生の母親三人から「大会周知のチラシで知った」といって言葉をかけられた。応接室には、佐藤町長をはじめ教育長、公民館長等がおられたが、私は許しを得て三人の母親に同席させてもらいました。

## 町長日記から

某先生が、畠山さん、この味は羽後町の女性の情念そのものだス」と感をもていった。異郷に子どもを預けておられる母親が愛生園で年に二回の親の集いであつた。私にたいして示してくれた好意に、私も異常な感動をおぼえた。

私は大変感動してこれをお知らせしたが、彼女らは、私が公民館の車で湯沢駅に出る際も、車

## 投票日

知事選挙  
県議会議員選挙  
四月十三日



# 今年予算と重点事業

## 清潔と対話のある町政

### 町民高福祉をめざす

#### 町長の昭和五十年施政方針の説明



昭和五十年の予算案を主要議題とした町議会は、去る三月十二日招集され、三月二十二日閉会しました。が、新年度の予算案の提出に当り、町長は次のように町政の執行方針と予算の大綱について説明し、議会ならびにみなさんに深い理解とご協力を要望しました。

## 厳しい行政動向と町財政

### キメ細い財源配分と効率施策で対処

#### 町長の説明

昭和五十年の予算案を骨子とする三月定例町議会の冒頭に、予算案の大綱を示し、町政の方向をあらわかにしたいと思います。本三月定例町議会に提案した議案は、条例改正議案八件、単行議案九件、予算議案十件の計二十七件であります。

合川町立合川診療所使用料等、徴収条例の一部を改正する条例は、寝具の使用料を引上げるためのものであり、町行造林契約の締結は増沢部落から、地方交付税等で八億三千四百六十七万八千八百八十九円、前年度対比で三〇・四割の伸び率を示しております。

また、合川町国民健康保険条例の一部を改正する条例は、葬祭費及び育児手当の給付額の引上げ、合川町簡易水道布設工事分担金徴収条例の一部を改正する条例は新たに給水を開始する施設の設置個所を設定するものであります。

予算案の内容について説明いたします。総需要抑制が続いているなかで、昭和五十年の予算の編成をいたしました。一般会計予算総額は十三億九千六百四十五万三千円となり、前年度当初予算額に比べて、一億三千四百四十四万四千円、増額は、わずかに七割の伸び率で、前年度の伸び率二二・六割を大きく下回っております。

次に新年度の施策のあらましについて申述することいたします。財政構造の内容について申述しますが、一般財源は町税一億三百八十七万四千六百六十七円八千八百八十九円、前年度対比で三〇・四割の伸び率を示しております。

民生費について申述します。町民福祉の向上を目指し、施策の拡充と内容の強化を図り、各福祉団体の育成と福祉施設の充実を期し、総額二億五千六百六十五万五千円を計上いたしました。

次に保健衛生費であります。総額は、五千五百四十五万五千円を計上しております。内容の主なものについて述べてみますが、健康保険対策として、乳児検診、循環器検診、婦人検診、結核検診等の所用経費を措置し、町民各層の検診率の向上に努力する所存であります。



広がる心と地域の輪 住みよい町づくり(駒おどり、録沢)

衛生予防費では、日本脳炎、種痘、ポリオ、インフルエンザ、ジフテリア等、伝染病予防に対する義務経費を措置いたしました。また、衛生指導員の活動費、モデル部落の設定等、町民健康指導対策にも意を配ったつもりであります。

次に農林水産業費について申述します。本町の基盤産業としての整備を図るため総額一億九千七百六十四万三千円を計上し、農林業振興のための継続的な投資を図っております。

## 地域の連帯と協調

### コミュニティの推進

次に新年度の施策のあらましについて申述することいたします。財政構造の内容について申述しますが、一般財源は町税一億三百八十七万四千六百六十七円八千八百八十九円、前年度対比で三〇・四割の伸び率を示しております。

町民福祉の向上を目指し、施策の拡充と内容の強化を図り、各福祉団体の育成と福祉施設の充実を期し、総額二億五千六百六十五万五千円を計上いたしました。

次に保健衛生費であります。総額は、五千五百四十五万五千円を計上しております。内容の主なものについて述べてみますが、健康保険対策として、乳児検診、循環器検診、婦人検診、結核検診等の所用経費を措置し、町民各層の検診率の向上に努力する所存であります。

## 社会福祉施策の拡充と強化

### 福祉バス購入

民生費について申述します。町民福祉の向上を目指し、施策の拡充と内容の強化を図り、各福祉団体の育成と福祉施設の充実を期し、総額二億五千六百六十五万五千円を計上いたしました。

### 保健衛生

#### 町民各層の検診率の向上と生活環境の整備



町民の健康増進を図る

## 農業政策

### 継続的な投資

#### 集団協業化の育成と林道網の整備

次に農林水産業費について申述します。本町の基盤産業としての整備を図るため総額一億九千七百六十四万三千円を計上し、農林業振興のための継続的な投資を図っております。

総額が一千六百六十五万五千円



を計上、信用保証協会予託金を一千万円に増額するとともに、保証料補助及び取扱手数料補助を増額し、商工会に對しての助成七十五万円を措置いたしました。

### 芦沢橋 (木戸石) を完工

次に土木費について申し上げます。

道路維持補修及び除雪対策としてロータリー一台を購入するため、六百十五万円を措置するとともに機械器具の整備を図ることにいたしました。

農路の新設改良費として、道路改良工事五カ所、一、二〇〇、一千五百五十万八千円、舗装改良工事九カ所、二、七六六、四千三百三十二万七千円をそれぞれ計上いたしました。

## 東小学校体育館を建築

### 社教町民対話による地域活動の促進

次に教育費について申し上げます。

計画的に昨年から中学校の父兄負担の軽減を図る方針を継承し、一般教材費を中心に総額で二億五百四十四万六千円を計上いたしました。

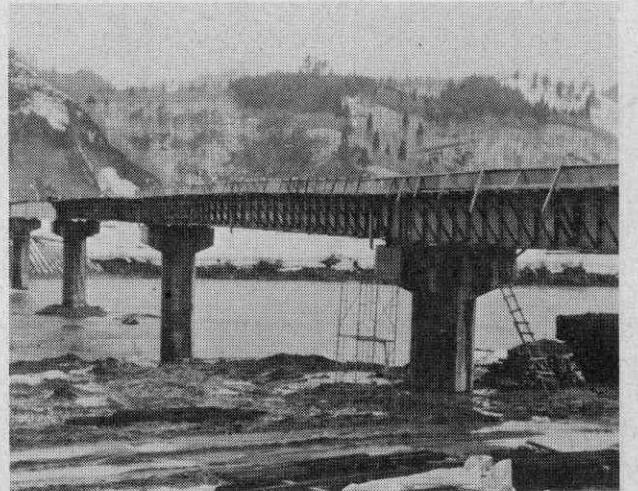
小学校費で主なものは、合川西小学校グラウンド及び校地の整備、合川東及び合川北小学校のバックネット設置、合川南小学校のスキー場並びに合川東小学校の校庭整備等であり、また合川西、合川南の両小学校が理科振興教育整備校に指

定になるための関係経費も計上いたしました。

本年度から各小学校の屋内体育館建築の計画を進めることになり、合川東小学校屋内体育館五百三十八平方メートルの建築費、五千三百七十一万七千円を計上いたしました。また、校地拡張についても関係者との交渉を始めたことと考えております。

中学校費では、グラウンド整備事業費に三百五十万円、給食室排水溝一〇〇メートル及び、校舎塗装費等を措置いたしました。

国民健康保険事業は医療費の増嵩により、保険給付費が大幅に延び、医療給付関係費として、年間二億八千九百九十九万九千九百九十九円が想定される状態であり、



進む道路交通網の整備 7月完成をめざして 芦沢橋(木戸石)

積極的に要望する所存であり、積算の総予算は二億二千八百六十七万五千円となり、この中にはまた、葬祭費一件、一万円、育児手当日額千円まで引上げる分も措置したものであります。

町立診療所は一応安定した運営を続けておりますが、今後とも施設内容の充実を図る考えであります。

入院患者は、一日平均十八人、外来患者は同七十八人を予定し、診療収入として、八千二百六十二万七千三百円を見込み、所要の経費を措置して、総額において八千四百三十九万四千円を計上しましたが、国の医療行政を見極めながら慎重にかつ、円滑な運営を図ってゆく所存であります。

その歳入不足金として、一般会計からの繰入金三百二十万二千円と国庫支出金に期待しておりますが、老人、乳幼児の医療費並びに高額医療費負担等の影響により、国保財政は益々悪化が予想され、抜本的な国の対策を

追加補正いたします。次に土木費であります。道路新設改良費の町道舗装及び町道改良事業で二百五十四万六千円、並びに町道維持補修費二百八十七万円を追加計上いたしました。

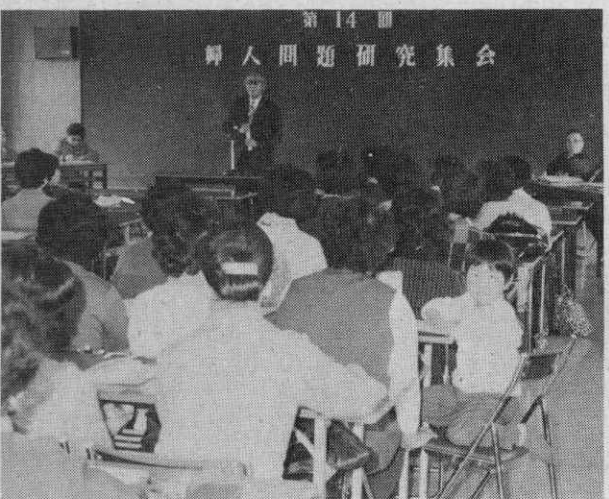
## 昭和四十九年度一般会計補正予算総額十四億二千万円

次は、昭和四十九年度補正予算のあらましにつきまして述べることになります。

一般会計補正予算の総額は、十四億二千四百二十万八千七百六十六円と減額となり、これは公共事業抑制による農道、林道の整備事業並びに橋梁事業等の次年度繰延べにより、約五千五百円を減額補正した関係によるものであります。

次は歳出補正のあらましですが、議費は需用費八十九万九千九百九十九円追加、総務費では一般需要費のほか、建設費負担金四百九十五万五千円、公立合川高校補助金五百五十万九千九百九十九円、計二千六百一十一万六千九百九十九円を追加補正いたしました。

民生費は補正総額が千七百八十八万六千九百九十九円、その主なものは、みさか寮、運営委託費百六十七万九千九百九十九円、再開五周年金運用貸付金百五十万九千九百九十九円、高額医療費貸付金五十万九千九百九十九円等、施設補助としては、青山荘建築費四十六万三千九百九十九円、大野台救護施設建築費二百九十九万九千九百九十九円、また町の社会福祉基金積立金として、二百九十九万九千九百九十九円を追加計上いたしました。



政治の原点にかえり 対話のある町政を推進

追加補正の内容は、事業繰延べとなる農道改良舗装工事費として、二千三百四十万二千円、林道開設事業費六百二十八万九千九百九十九円、また、農業構造改善事業では実績に基づいて、七百四十九万九千九百九十九円をそれぞれ減額補正しておりますが、土地改良区補助百九十五万八千九百九十九円、圃場整備事業百九十九万九千九百九十九円、農業構造改善事業施設運営費補助二百九十九万九千九百九十九円、その他一般需要費並びに農道道路、開拓道路の委託事業等に対

追加補正いたしました。次に土木費であります。道路新設改良費の町道舗装及び町道改良事業で二百五十四万六千円、並びに町道維持補修費二百八十七万円を追加計上いたしました。

追加補正いたしました。次に土木費であります。道路新設改良費の町道舗装及び町道改良事業で二百五十四万六千円、並びに町道維持補修費二百八十七万円を追加計上いたしました。

追加補正いたしました。次に土木費であります。道路新設改良費の町道舗装及び町道改良事業で二百五十四万六千円、並びに町道維持補修費二百八十七万円を追加計上いたしました。



# 黙っていても 年金がもらえる？



先日、「国民年金にまだ加入していないAさんをたずね、そのわけを聞いたところ、「オラ家（え）の婆さんだば、なんも掛金納めねても、七十なつたば年金がおりた。オラだつて七十なれば、かたつてネくたつてもらえんはずだ」という答えでした。

しかし、これは大変な誤りです。

掛け金を納めなくても七十歳になれば年金（この年金を老齢福祉年金と呼んでいます）をもらえる人は、明治四十四年四月一日までに生まれた人に限られているのです。

この人たちは、国民年金の掛け金が始まった昭和三十六年四月に、すでに五十歳に達していて、長期におたって掛け金を納めること

## 確定申告が間違っていたときは

昭和四十九年分所得税の確定申告の受付は三月で終了しましたが、申告をした後で、所得や税額を間違っていたり、還付を受ける税金が計算し納めた税金が少なかつたり、還付を受ける税金が多いことに気付いた場合は「修正申告」をして正しい金額に訂正することができ

## ありがたう 善意のご寄付

- 次の方々から、故人の香典返しに代えて尊い浄財の寄付をいただきました。
- 町の社会福祉事業の基金に繰り入れ、有効に役立たせることにいたしました。
- 紙上を通じて厚くお礼申しあげます。
- （社会福祉法人、合川町福祉協議会）
  - 桜井栄治（下杉）
  - 母、サトさんの香典返しにかえて二万円
  - 後藤耕一（下杉）
  - 父、要三さんの香典返しにかえて二万円
  - 高橋友勝（下杉）
  - 祖母・キヨさんの香典返しにかえて一万円
  - 佐藤明彦（川井）
  - 父・宇一郎さんの香典返しにかえて一万円
  - 福岡与左衛門（上杉）
  - 妻・ツヤさんの香典返しにかえて一万円
  - 松岡隆一（駅前）
  - 父・友治さんの香典返しにかえて一萬五千元
  - 庄司吉男（下杉）
  - 祖母・ツキさんの香典返しにかえて一万円
  - 畠山友治（木戸石）
  - 妻・愛さんの香典返しにかえて一万円
  - 三浦勇一郎（三木田）
  - 父・勇さんの香典返しにかえて二万円
  - 正田俊一（上杉）
  - 父・伊久三さんの香典返しにかえて二万円
  - 後藤敏男（下杉）
  - 母・チエさんの香典返しにかえて三万円
  - 正田要悦（上杉）

## 慶弔だより

- 自十二月二十日  
至 三月二十日
- おめでとうご健康をお祈りいたします。
- 松岡恭子・信三長女（羽根山）、金田典子・哲信長女（西根田）、畠山香紀・辰吾長男（駅前）、松岡みどり・昭吾二女（駅前）、米倉拓郎・幸美長男（駅前）、高橋麻紀・久雄二女（八幡俗）、三浦絵里花・克昭長女（三木田）、田中伸子・清長女（大内沢）、米沢牧子・隆作長女（上杉）、加藤美緒・行仙二女（鎌沢）、木村洋子・健悦長女（駅前）、永井裕美子・成一長女（上杉）、松岡康一、修一長男（羽根山）、佐藤佳久・喜代見長男（川井）、高橋正樹・正雄長男（木戸石）、伊藤孝樹・六郎長男（雪田）、森岡豊・耕一郎二男（道城）、

# 公民館のバレンタイン

## 結婚披露宴の簡素化

### 三月から会費制で実施

合川町公民館、合川町農協利用の結婚披露宴は、三月一日から公民館方式によって、一人当たり三千円の費用、会費制でいよいよスタートされました。

青年会、婦人会が、ミエムリ・ムダをなくする新



これに従ってまいります。（結婚式は当人の自由）  
二、実行委員会（世話人会）

生活運動の一環として結婚披露宴の簡素化を提唱、あくまでも結婚する両人の新しい門出を祝福するということが中心で、その結婚方式は次のとおりです。

一、この方式は、公民館、農協を利用して行なう場合

の設置

三、披露宴の費用は一人三千円以内とします。

四、会費制により招待者全員三千円以内で統一します（祝袋に入れず当日持参）

五、披露宴の時間は二時間三〇分以内とします。

六、新婦のお色直しは二回を限度とします。

町民のみなさま ご協力をお願いいたします。

## 火の用心

四月六日  
四月十二日

### 春季火災予防運動

簡易水道施設事業会計の補正額は三十一万八千円で、総額五百九十一万九千円、簡易水道施設建設事業会計では、町債二百八十万円の増額に伴う財源補正を行ったものであります。

次は、国、県の事業等の見直しについて申述べることにいたします。

県道、鷹巣川井、堂川線のうちの湯車バイパスは間もなく完成し、李岱、東根田間の李岱バイパスについても用地取得事業が開始されることとなります。

また、二ツ井、森吉線については、小繋、増沢間の改良計画が新年度公共事業として採択にならないため、そのアウトラインを模索したいと考えております。

大野台開発関係につきましては、内陸工業団地への工業導入が遅れておりますが、これに交通環境等の調査を加え、大野台の農工商面にわたる開発への布石を集めつつあり、新年度からそのアウトラインを模索したいと考えております。

勤労者を対象に合川町に

## 町民一丸となつて

### 生活、経済の難局打開を

以上、いろいろな問題等につきまして申述べて参りましたが、いまや町民生活、町民経済は大きな変革期を迎えたと考えられるときに、町民ひとりひとりが心を引き締め、全町うって一丸となり、この難局を打開しつゆかなければならぬと思ふものであります。私は今、町長として、その責任の重大さを痛感しております。

わが合川町は、町民各位のご協力により、今日まで実に六百五十三日という無火災の快記録を更新しつづけており、昨日は県庁において無火災優良町村として表彰される栄を受けて帰ったばかりであります。

昨年度における交通事故

期になりましたが、新年度において再び廃止の動きがあるやにも聞いておりますので、町議会の強固な意志に基づき、廃止絶対反対の態度を表明し、各機関に対し、強力な働きかけを行う所存であります。

## 青少年の森に野 外趣味施設の設置

内容をさらに充実する  
「青少年の森」



設置されることになった、勤労者野外趣味施設が鷹巣・阿仁広域圏内の中小企業勤労者向けの施設として、歓迎されるわけであり、その場所としては「蟹沢山、青少年の森」となっており、五十、五十一の両年度にわたる二カ年継続事業で完成の予定であります。

## 町をきれいに 守ろう収集日

昭和五十年年度の施設の方針といたします。